

令和6年度 皇徳寺中学校区 小中連携研修会 共通実践まとめ

学習指導部会	①「家庭学習、宿題の在り方(時間、量等)、学習の決まりについて」	
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年なので、できるだけ保護者に見届けをしてもらえるようお願いをしてきた。計算は○付けや間違っところの訂正をして力をつけてきた子供も見られた。 ・チャイム前着席、チャイム黙想に取り組んでいる。(まだきっちりできていませんが…) ・宅習帳の中で短文作り・ローマ字練習に取り組んでいる。(個人によって差はあります…)
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題をしてこない子への対応 ・主体的な学習者(一人学びができる)を育むために、計画的・効率的・自律的な家庭学習の習慣化を図る取組を工夫し、授業と連動させる形で実践継続していきたい。 ・時間を自分で設定し、内容も自分で考えることのできる家庭学習を大切に、充実させていきたい。 ・継続的な関わりや働きかけが必要
	②「タブレットの活用について」	
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・隙間時間に練習問題させることができた。また子供たちも進んで取り組めた。 ・タブレットを用いた英語学習が実践されていたと思う。 ・よく活用されていたように思う。 ・navimaの活用ができた。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使用するときの約束を守れない子への指導のあり方 ・タブレットだけではなく、対人でどの程度やり取りができていくかが今後の課題である。 ・個人保管の仕方(持ち帰り・または学校保管)をどうすすめていくかが課題である。 ・長期休業中の課題だけでなく、それ以外での定期的な活用
	③「外国語・外国語活動について」	
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の始まりに、日付や曜日、天気を表す単語をノートに書かせ、スペルを一字ずつ声に出して読むという流れを作った。大文字と小文字の違いを意識して書いたり読んだりすることができた。 ・外国語活動の開始直後にジングル(フォニックスソング)を歌うことで、文字と発音の関係を意識させている。 ・基礎学力の定着が少しずつであるが、図れたように思う。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動では、アルファベットを書く活動はほとんどない。3年生から学習するローマ字に合わせて、アルファベットを書くようにしている。
	④「身に付けてほしい学力、学習指導について」	
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着が少しずつであるが、図れたように思う。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・前学年までの既習事項でのひっかかりを、できるだけ洗い出し、少しでも底上げできるようにしていきたい。 ・答えを人から聞く(写す)のではなく、自分で調べていこうとする力の育成が課題である。 ・基礎的な計算や漢字などの力をつけさせる必要がある。
	⑤「キャリア教育について」	
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学習等を通して、自分の適性を知る(学ぶ)活動ができていたように思う。 ・発達段階に応じた指導を行うことができた。
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成を築けていない生徒への手立てができなかった。

生徒指導部会	①「自ら進んであいさつの実践について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会が中心となってあいさつ運動を行った。給食時間に「今日は〇年生のあいさつがよかったです」と放送をすることで、学校全体であいさつに対する意欲が高まっていったように感じた。 ・職員、児童を問わず、各自が率先垂範を努めることで、あいさつの実践が推進された。 ・児童会運営委員会が児童集会で「あいさつ」を取り上げ、明るく楽しい学校生活づくりの啓発を行った。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつに対する意識の個人差が大きい。 ・それぞれ実践しているとは思いますが、共通して何かということはありませんように感じる。
	②「板書について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校とも、授業の流れの中でのチョークの色に意味をもたせて取り組んでいる。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校において「めあて」と「まとめ」の色が違っていたり、逆になっていたりする。
	③「保護者対応について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・まなびポケットやショートメッセージを使って保護者と連絡を取り合った。なかなか電話が繋がらない保護者ともやり取りができ、電話、まなびポケット、ショートメッセージ等の連絡手段を実態に応じて使い分けることが効果的だと感じた。 ・保護者の思いを十分かつ誠実に傾聴した上で、児童の成長に関する方向性を共有し、かかわり方について相互理解を図るようすることで適切に対応することができた。 ・信頼関係を構築するまで時間がかかり、指導に不信感をもってしまわないかと感じる ・学びポケットを小学校で保護者連絡等で活用し、情報を共有することができた。 ・問題が起こったり、気になる事例があった場合には、保護者連絡を行い、保護者との連携を図った。特に不登校傾向生徒や遅刻の多い生徒については、本人、保護者の双方に話をした。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学びポケットを中学校で活用する段階には現状準備が進んでいない。 ・担任一人で抱え込むことがないよう、学年部の先生方など、複数で声かけ連絡等を行える体制作り。
	④「不登校について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の3校主任会を通して、各学校の実態や諸問題への取り組み状況等の情報交換ができてよかった。 ・不登校生の現状について、三校生徒指導主任会などを通して、情報共有をすすめることができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校側からの情報提供に力を入れて、個に応じた選択肢の幅を広げていく必要がある。 ・不登校への対応は千差万別で本当に苦労する。学校へ登校することが正解かも疑問に思うことがある。
	⑤「ネットトラブルについて」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使用する際の3つの約束「設定を変えない」「学習に関係ないことに使わない」「使わないときは保護者に預ける」を職員間で共通理解し、児童保護者への説明を年間を通して行った。大きなトラブルは見られなかった。 ・SNSの利用が友人間トラブルにつながっていることについて、課題を共有することができた。 ・学級通信やPTA等を通して、保護者に子供たちの現状や事例を話した。保護者の知らないところでトラブルが起きていることを知ってもらうことができた。家庭でのルール作りやルールの見直しの機会として活用することができた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で使用するiPadはフィルタリング設定されているものの、様々な方法でフィルタリングをかいくぐって検索等に使用されている実態が見られた。情報モラル教育とからめ、「タブレットは学習の道具であり、一部の人がきまりを守れていないとみんなが使えなくなる」といった指導を続けていく必要がある。 ・保護者自身の意識改革が必要である。 ・小中連携による具体的な取組はあまり進んでいない。 ・問題を抱えている生徒の保護者はPTA等への参加が少なく、必要な情報が届かない事が多い。

特別支援教育部会	①「合同学習会について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・合同学習会前に打ち合わせをし、計画通り実施できた。 ・中学生がリーダーとなり、3校で交流できてとても有意義な合同学習会が実施できた。 ・今年度から再開した三校合同交流学習会では、ニュースポーツで交流した。宮川小が担当校で公文、会の運営などきめ細やかな対応で来年度以降の取組の見通しがもててありがたかった。 ・ニュースポーツを通して、少しでも交流を図ることができた。 ・中学生が運営に関わることで、自主的に声かけする姿が見られて良かった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ編成を各学校でしたが、トラブルになったグループがあった。トラブルから学ぶこともあるが、その後の、移動に支障がでた。子供たちの様子も事前に打ち合わせをしておくとういと感じた。 ・道具を借りられる期間が3日間(西原商会)だったので、事前学習ができなかった。 ・各校代表者同士の事前打ち合わせ時間確保。 <p>※三校教務主任打ち合わせ会で、合同学習会及び代表打ち合わせ会を設定してほしい。</p>
	②「授業参観について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施してもらえて大変助かった。事前に質問事項を送ることで保護者も知りたいことを知ることができとても喜んでいました。 ・他校の授業参観を通して、児童への対応の仕方や教室の設営等、参考になった。 ・個人保管の仕方(持ち帰り・または学校保管)をどうすすめていくかが課題である。 ・小学校の先生の板書は丁寧で、学習のしつけもきちんとできていて参考になりました。 ・宮川小、皇徳寺小とも授業参観と説明会を実施できた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日程調整に時間がかかり、公文発送がハタハタしてしまっただ。年間計画の中に組み込んでもらえるのと係、保護者も日程調整がしやすいのではいか。 ・授業について話をできる時間があつたら良かった。 ・皇徳寺中の特別支援学級教育課程や支援体制について説明する時間の確保。 ・支援学級の生徒が通常学級においてどのように過ごしているか授業参観の設定が難しい。 <p>※中学校が授業参観日を設定して、その日に説明・見学を行えるとよい。</p>
	③「支援員の支援内容について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員配置のための情報共有の時間は設定することができなかったが、文書での情報共有をすることで来年度に向けての準備を進められたと思う。 ・支援を希望した学級に週1～2回入ってもらい、児童についての情報を得ることができた。 ・前学年までの既習事項でのひっかかりを、できるだけ洗い出し、少しでも底上げできるようにしていきたい。 ・一斉授業の中で、スピードについていけない生徒や・多動傾向があり授業に集中できず、お喋りなどで授業を中断させてしまう生徒に対して、状況を見て、励ましや説明などきめ細やかに対応して下さり生徒の授業に向き合う姿勢が変わってきた。 <p>(31名の支援対象生徒に対して、その他60名以上の生徒への支援をして下さっている)</p>
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員配置のための情報共有の時間は設定することができなかった。 ・支援員との情報交換の時間確保が難しかった。 ・支援員用の教科書や資料等が不足している。来年度は教科書が変わるので、購入していただけるか要相談。
	④「卒業生の情報について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の様子を小中連携研修会で知ることができた。進路についても情報交換できてよかった。 ・今年は、3校合同学習会でも、卒業生の様子を知ることができた。 ・多様な進路先があることが分かり勉強になった。 ・特別支援学級在籍児童の進路について聞くことができ、参考になった。 ・小学校時代の様子を聞けたり、保護者の様子なども細かく聞けて参考になりました。 ・市特研の会や研修会などで情報交換が行えた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入試において、合理的配慮がどれぐらいなされているのか知りたい。(別室受検や振り仮名、読み上げ対応など) ・市教委に提出する(1月末)書類の作成について、三校で共通理解していたほうが良い。 ・小学校で実施した検査など、これからはしっかり引き継ぎできたらと思います。 ・小学校では支援学級だった生徒の情報については、本人と保護者の考え等共有できるとよい。 ・小6の引継ぎでは、通常学級における支援が必要な生徒(学習・行動・対人)について、県が出しているチェックリストを添付し細かな生徒の状態を知りたい。

旧小六・中一部会	①「学級経営について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を気にしながら、学校生活を過ごせるようになった。 ・教室内での子供同士のあいさつはできるようになった。 ・係の必要性や目的を考えさせることで自主的かつ積極的に取り組ませることができた。 ・下校時に引き出しを出させて整理させたり、整理の時間を作ることで整理整頓を意識させることができた。 ・気になる生徒の情報交換ができ、大変ありがたかった。また、小学校での指導をどのようにしていたか、具体的に事例を挙げて話を聞くことができ参考になった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの切り換えに時間を要する子供がいる。 ・机の中や鞆棚は、定期的に整頓させる必要がある。 ・少しでも気になる生徒がいたら、詳細を教えてほしい。小学校から情報がなかった生徒も多いた。 ・小学校でのいろいろな問題行動等が、低学年時であった時など、その情報が中学校にもらえていないこともあったので、(保護者からの話で分かったこともあった)気になる生徒については、低学年からの引き継ぎ事項も教えてほしい。
	②「学力について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・計算力や読み書きの力がついていると、勉強の悩みや抵抗感を無くすることができた。 ・小学校時に全体的に苦手であったことについての話があり、参考になった。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の習慣化は、ほとんどの子供ができていますが、指導の継続が必要な子もいる。 ・四則演算をドリル等活用して反復して学習させたが、まだ正確性やスピードは十分とは言えない。 ・苦手意識をもっている分野や教科については、授業の中で重点的に課題に取り組ませるなど、今後も引き継ぎ、強化していく必要がある。
③「中学校入学について」		
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・入学前の小学校とのやり取りを、設定された時間以外でも行い、学級編成や生徒指導等の参考にさせていただいた。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・女子の制服のスカート・ズボンなどの選択は検討されているのだろうか。 ・年度によって中学校から依頼される、小学校から持ち上がるものの内容が変わる時があるので、何がいつまでに必要なのか明記していただくと準備しやすくなりありがたい。 ・卒業生の引継資料のためのエクセルファイルが破損しているので修正をお願いします。 ・入学式のあいさつの生徒は、事前に(できれば小学校在学中に)○日△時に中学校に来て打ち合わせるとよい。 ・前学年までの既習事項でのひっかかりを、できるだけ洗い出し、少しでも底上げできるようにしていきたい。 ・特に低学年時の生徒指導や配慮していたこと、検査を受けたことなど、しっかり引き継ぎをしておかないと、中学校に上がってから保護者から聞くこともあった。 	

養護教諭部会	①「健康診断の事後措置について」	
	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・医療券の日程を3校で合わせることができた。 ・色覚検査を実施できた。 ・成長曲線については、子校医と連携し対象生徒に受診勧告を行った。対心の流れについては、二校養護教諭間で情報交換を行い共有した。 ・色覚検査の実施方法を確認し、各学校で年1回は検査について案内をすると決めた。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・検診結果から受診勧告をしても受診率が低い。保護者の意識を高める必要がある。 ・う歯治療率が低い。